

京都市IR資料

# 京都市債のご案内

令和2年10月





行財政局財政部財政課

# ■目次



京都市のすがた2	
京都市の魅力3	
京都市の財政状況(収支の状況)6	
一般会計決算7	
公営企業決算8	
健全化判断比率の状況1	C
新型コロナウイルスの感染拡大による本市財政への影響1	1
京都市の財政基盤等1	2
京都市債の状況	
市債管理の方針1	7

# ■ 京都市のすがた



### 【人口】

1,475,183人(全国8位)

※平成27年国勢調査

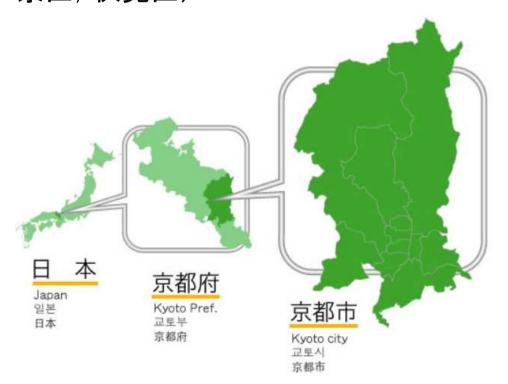
# 【面積】 827.83k㎡

※平成27年国勢調査



### 【行政区画】

11区(北区, 上京区, 左京区, 中京区, 東山区, 山科区, 下京区, 南区, 右京区, 西京区, 伏見区)





### 京都市の魅力



### 歴史

### 文化

### 自然•景観







- 平安京遷都以来,厚みのある 奥深い歴史・風土
- ●世界遺産「古都京都の文化財」 を構成する14の社寺・城のほか、全国の国宝の約2割が集積するなど3000件を超える文化財の宝庫
- ユネスコの世界無形文化遺産 にも登録された祇園祭など、世 界に誇る祭・伝統行事

- ●源氏物語や方丈記などの多く の文学,能,狂言,歌舞伎,茶 道,華道,香道など,1000年に わたって良質な文化を生み出 してきた土壌が存在
- 新たな文化行政のスタートとなる文化庁の京都への全面的な 移転(令和4年度中)

- 三方をなだらかに連なる山々に 囲まれ、山々を源流とする鴨川、 桂川が市内を南北に流れるなど、 豊かな自然
- 京町家など魅力ある木造建築物
- 全国に類を見ない新景観政策

### 京都市の魅力



### 環境



- 資源・エネルギーの有効利用 と環境負荷の低減を図る循環 型のまち
- 市民ぐるみでごみ半減(平成 12年度82万トン→令和元年 度41万トン)
- ●【市民1人1日当たりの家庭ご み量】京都市:396グラム (指定都市平均:554グラム)

### 産業



- 伝統産業から最先端産業が共存する"ものづくり都市"
- ●世界オンリーワン・ナンバーワン 企業が多数立地

【主な本市内立地企業(50音順)】 オムロン株式会社, 京セラ株式会 社, 株式会社島津製作所, 任天堂 株式会社, ローム株式会社, LINE 株式会社(国内第三の技術・開発 拠点) ほか

### 大学のまち・学生のまち



- ●38の大学・短期大学を中核と する高度で豊富な学術研究
- 人口の約1割に相当する学生 に代表される,あらゆる分野の 「知」の集積
- ●全学生に占める芸術系学部生の割合は全国平均の約2倍 (京都市5.1% 全国2.7%)

※27年度学校基本調査

### 京都市の魅力



#### SDGs

# SUSTAINABLE GOALS DEVELOPMENT GOALS TO GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



- 千年を超えて、都市の機能・文化が遮断されずに継承・発展→レジリエンスを目指し、SDGsを体現してきたまち「京都」
- 全国815市区を対象とした「持続可能性・SDGs 先進調査」by日経新聞(74の指標を用いて評価)で1位を獲得(平成31年1月)
- ・防災・減災への取り組みを推進する自治体・企業を対象とした「レジリエンス格付け」認定制度※で、第1号「3つ星レジリエンスシティ」に(令和2年2月)

### 観光





### 世界から高く評価される「京都」

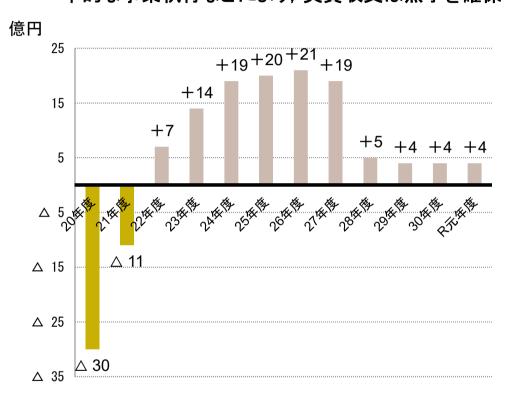
- イギリスの旅行雑誌「Wanderlust」の読者投票ベストシティ部門で2年振りに1位を獲得(令和2年2月)
- アメリカの旅行雑誌「コンデ・ナスト・トラベラー」の 読者投票で世界第1位の人気都市に(令和2年10月)
- グリーン・デスティネーションズが実施する持続可能 な観光地「TOP100選」に入選(令和2年10月)

# 京都市の財政状況(収支の状況)

# 京都市

#### 一般会計の実質収支

過去最高水準の市税徴収率(98.9%),基金の活用,効率的な事業執行などにより、実質収支は黒字を確保



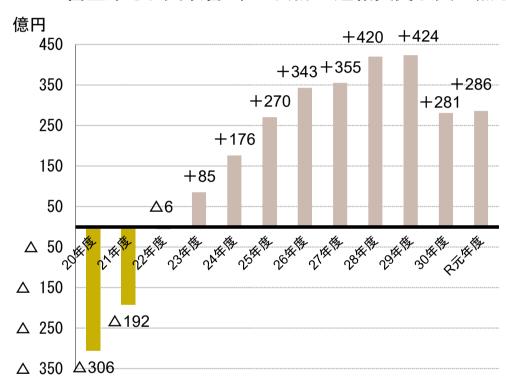
### 令和元年度一般会計決算

(単位:億円)

歳入総額	歳出総額	差引	繰越財源	実質収支
A	B	A-B	C	A-B-C
7,728	7,705	23	19	

#### 全会計の連結実質収支

地下鉄の財政健全化法に定める資金不足解消(※)など 公営企業も収支改善し、全会計の連結実質収支は黒字



#### 公営企業の状況(30年度とR元年度の資金収支の比較)

市バス	+ 9億円(+56→ +65)
地下鉄	+ 0億円 ( 0 → 0)
水道	△ 20億円(+ 89 → + 69)
下水道	+22億円(+82 → +104)

(注1)地下鉄の資金不足額は,解消可能資金不足額控除後の額。

(注2)億円未満を端数処理しているため、合計が一致しない場合がある。

# ■ 一般会計決算



### 一般会計決算

#### 歳入

30年度	R元年度	増減額	構成比
291,702	305,500	13,798	39.5
110,663	117,450	6,787	15.2
32,882	34,236	1,354	4.4
104,938	107,214	2,276	13.9
43,219	46,600	3,381	6.0
19,336	20,079	743	2.6
82,376	77,164	△ 5,212	10.0
183,034	187,898	4,864	24.3
61,401	59,822	△ 1,579	7.7
39,541	34,571	△ 4,970	4.5
4,830	6,350	1,520	0.8
92,944	81,439	△ 11,505	10.5
775,164	772,823	△ 2,341	100.0
104,914	93,003	△ 11,911	12.0
	291,702 110,663 32,882 104,938 43,219 19,336 82,376 183,034 61,401 39,541 4,830 92,944 775,164	291,702 305,500 110,663 117,450 32,882 34,236 104,938 107,214 43,219 46,600 19,336 20,079 82,376 77,164 183,034 187,898 61,401 59,822 39,541 34,571 4,830 6,350 92,944 81,439 775,164 772,823	291,702305,50013,798110,663117,4506,78732,88234,2361,354104,938107,2142,27643,21946,6003,38119,33620,07974382,37677,164 $\triangle$ 5,212183,034187,8984,86461,40159,822 $\triangle$ 1,57939,54134,571 $\triangle$ 4,9704,8306,3501,52092,94481,439 $\triangle$ 11,505775,164772,823 $\triangle$ 2,341

歳出

	- 224 /	ш.	_	_	_	`
- (	ш 1	<b>.</b>		$\overline{}$	ш.	)
١.	_	<u>.</u>	_	//		,

	区分	30年度	R元年度	増減額	構成比
消	費的経費	519,044	519,338	294	67.4
	給与費	166,834	164,661	△ 2,173	21.4
	扶助費	206,299	211,012	4,713	27.4
	物件費他	145,911	143,665	△ 2,246	18.6
投	<b>資的経費</b>	83,025	78,566	△ 4,459	10.2
公	責費	85,698	85,988	290	11.2
繰	出金	78,061	79,905	1,844	10.4
積:	 立金	6,098	6,698	600	0.9
	歳出総額	771,926	770,494	△ 1,432	100.0
歳	入歳出差引	3,238	2,329	•	
翌:	年度へ繰り越すべき財源	2,874	1,899	· (注2)	
	実質収支	364	431		

<sup>(</sup>注1)歳入の「財産収入その他」には、中小企業金融対策預託金に伴う元利金収入として、30年度は34,532百万円、R元年度は32,000 百万円を含む。 歳出の「物件費他」には、中小企業金融対策預託金として、同額を含む。

<sup>(</sup>注2)繰越事業費18,632百万円一未収入特定財源16,733百万円

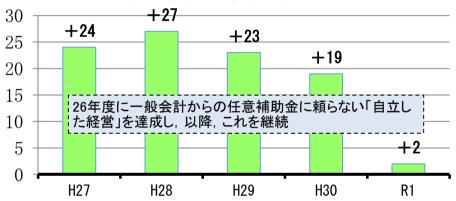
## 公営企業決算

## 市バス事業

対前年度比 +1.1%

- 〇 お客様数は、<u>令和2年1月までは順調に推移</u>する も、2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響に より、大幅に減少し、経営環境が激変
- 〇 1日当たりお客様数は35万7千人
- 〇 経常損益は2億円の黒字を確保

#### 経常損益の推移(億円)



#### ◇お客様数の推移(千人/日)

左	F	厚	HZ.	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	Н30	R1
お	客	様	数	311	314	314	321	326	341	353	363	368	364	357
交	前年	F度	増減	_	3	0	7	5	15	12	10	5	$\triangle 4$	$\triangle 7$

※表示単位未満を端数処理しているため、対前年度増減が一致しない場合がある。

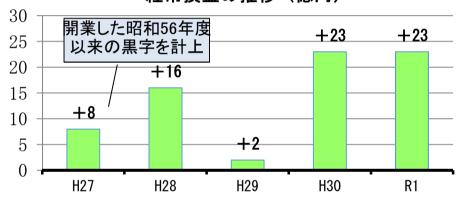
# 地下鉄事業

対前年度比 +3.6%

CITY OF KYOTO

- 〇 お客様数は、<u>令和2年1月までは好調に推移</u>する も、2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響に より、大幅に減少し、経営環境が激変
- 〇 1日当たりお客様数は40万人
- 経常損益は23億円の黒字を計上したものの,企業 債等残高は3,445億円,累積資金不足は305億円にの ぼり,全国一厳しい経営状況

#### 経常損益の推移(億円)



#### ◇お客様数の推移(千人/日)

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	Н30	R1
旅客数	327	330	334	339	348	359	372	379	387	397	400
対前年度増減	_	3	4	5	9	11	13	7	8	9	3

※表示単位未満を端数処理しているため、対前年度増減が一致しない場合がある。

#### 【令和2年度の業績見込】

感染拡大防止を最優先に、緊急事態宣言発令中は市バス・地下鉄の御利用を8割削減させることを目標に掲げ、不要不急の外出自粛のための対策に取り組み、市民の皆様の御理解・御協力もあって、両事業ともにお客様数は前年度と比べて大幅に減少、地下鉄では12日間において8割削減を達成

一方, お客様数の減少が経営に与える影響は極めて大きく, 過去に類を見ない大幅な減収となることは避けられず, 経営 は危機的状況

経費節減はもとより、関係部局と連携した増収・増客の取組、国に対し緊急の支援を強く求めるとともに、お客様に安全・安心に御利用いただくため、感染拡大防止を徹底し、引き続き「市民の足」を確保

# 上下水道事業

更新率は、H30:1.3%→R1:1.4%



- 〇 「中期経営プラン(2018-2022)」の2年目として,引き続き,老朽化した配水管更新のスピードアップ(132.6億円) - や「雨に強いまちづくり」に向けた雨水幹線の整備(41.7億円)等を着実に推進
- 〇 琵琶湖疏水記念館開館30周年記念事業のほか、琵琶湖疏水通船事業について、高い乗船率を維持するための企画等 の推進、疏水の魅力を発信するガイドの育成、3隻目となる船舶(れいわ号)の建造を実施
- 〇 使用水量が減少(収入が減少)する中、民間活力の導入や業務執行体制の見直しをはじめ、効率的な事業運営に 努めた結果、水道事業は5年連続、公共下水道事業は10年連続で黒字を確保(水道:50億円、下水道44億円)
  - →プランに掲げた目標を上回る利益(積立金)を確保(水道:28億円,下水道35億円)

主な数値目標の達成状況

· 老朽配水管解更新消率 <u>H30:27.1% → R1:31.9% 【達成】</u>

老朽配水管の事業開始年度(H21)の延長に対する更新済割合

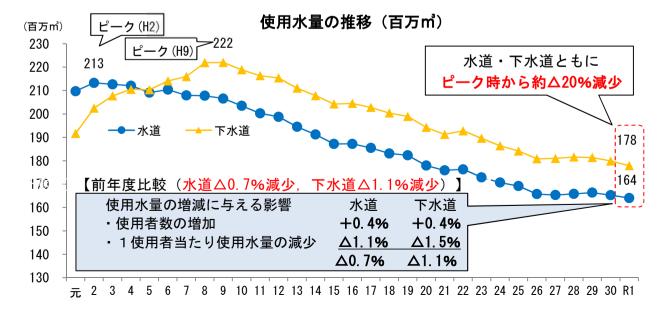
· 雨水整備率 H30: 28.6% → R1: 29.2% 【達成】

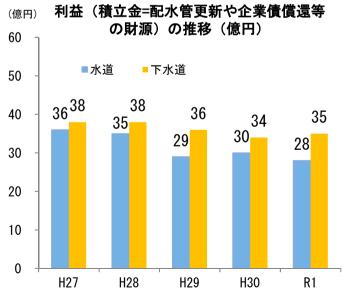
事業計画区域のうち10年確率降雨(62mm/h)への対応が完了した面積の割合

5年確率降雨(52mm/h)対応の雨水整備率は約91%で、全国平均の59%を大きく上回りトップ水準(これまでの雨水幹線等の整備費用は約1.750億円)

#### 【今後に向けた課題】

〇 人口減少による使用水量の減少や管路・施設の老朽化に加え、令和元年度決算でプランを下回った水道料金・下水道使用料収入が、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度には更に大幅に減少する見込みであり、経営環境はこれまで以上に厳しい見通し





# ■ 健全化判断比率の状況



### すべての指標で早期健全化基準を下回る

- 人件費の削減などの改革努力, 市税等の徴収率の向上などにより, 実質収支の黒字を維持。(25年度 20億円, 26年度 21億円, 27年度 19億円, 28年度5億円, 29年度4億円, 30年度4億円, 令和元年度4億円)
- 地下鉄, 市バス両事業をはじめ, 公営企業の経営健全化が着実に前進していることから, 連結実質黒字も拡大。(26年度 343億円, 27年度 355億円、28年度420億円, 29年度424億円, 30年度281億円, 令和元年度 286億円)
- ■実質公債費比率及び将来負担比率は、標準財政規模が増加したことなどにより1.0ポイント減。

(単位:%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
R元年度決算数値	0	0	10.4	191.1
前年度数值	0	0	11.4	191.2
早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	400.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	_

# 新型コロナウイルスの感染拡大による本市財政への影響



#### 京滋内の経済状況について

新型肺炎の影響により、依然として厳しい状態にあるが、足もとでは持ち直しの動きがみられる。個人消費は経済活動の再開に伴い財の前年比は減少幅が縮小しているが、飲食サービスを中心に低調な動きとなっている。観光は大幅に悪化した状態が続いているものの、足もとでは持ち直しの兆しがみられる。設備投資は大型投資が一服しているほか、非製造業を中心に収益環境の悪化を受けた経費節減の動きがみられることから減少している。住宅投資は横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は公共施設の建築工事や高速道路関連工事などを中心に増加している。こうしたもと、生産は持ち直しの動きがみられる。また、雇用・所得環境をみると、労働需給・雇用者所得ともに一段と弱い動きとなっている。

今後については、当面、新型肺炎の影響から悪化した状態が続くとみられるが、経済活動が再開していくもとで、徐々に改善していくとみられる。 (参考)日本銀行京都支店 管内金融経済概況 (令和2年10月16日)

今後も、歳出・歳入両面において大変厳しい状況が予想される

#### 歳出面

#### ◆地域経済の立て直し、ウィズコロナへの対応への支出 増

これまで臨時交付金を活用して経済対策等を実施。

9月までに5次にわたり3,000億円の補正予算を計上 (令和2年度一般会計当初予算7,800億円の約4割相当)

今後も, 感染拡大防止と地域経済の立て直し, ウィズコロナを前提とした「新たな生活スタイル」の定着に効果的な施策を講じていくことが必要。

#### ◆社会福祉関連経費の増加

緊急事態宣言中の4月には、生活保護の申請が前年度比 +40%まで増加したものの、解除後の6月には前年度比+ 4%となるなど、その状況は一定緩和しつつあるが、新型 コロナウイルス感染症による社会福祉関連経費の動向には 引き続き注視が必要。

#### 歳入面

#### ◆市税収入等の減少

観光客の激減や企業業績の悪化等により、法人市民税や<u>宿泊</u> 税をはじめとした市税収入等の減少、リーマンショック時を踏まえると、影響の長期化も想定される。

> 申告税額 H31年4月:4.4億円 → R2年4月:3千万円(△93%) R1年5月:3.6億円 → R2年5月:2千万円(△93%)

#### ◆施設使用料の減少

観光客の激減,施設の休館・利用停止や外出自粛に伴う利用客の減少で,二条城,美術館,動物園,等の施設使用料が大きく減少。\_\_\_\_\_\_

H31年4月:2億2千万円 → R2年4月:3百万円(△99%) R1 年6月:1億2千万円 → R2年6月:12百万円(△90%)

緊急事態宣言の解除に伴って、一部、改善の兆しはみられる ものの、従来の水準まで回復するには時間を要するため、厳し い状況が続くことが想定される。

### 京都市の財政基盤等

- ●市民1人あたりの市税収入が少なく財政基盤がぜい弱
- 地方交付税等が大幅に削減



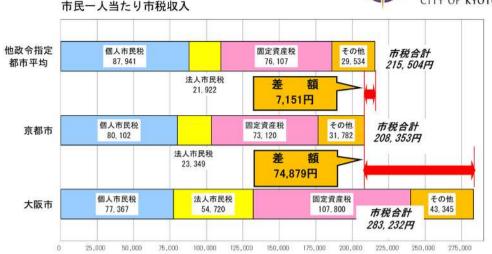
防災・減災対策,福祉,教育,子育て支援など, 基礎自治体として着実に執行しなければならない 施策に加え,都市の魅力を高め,京都の発展に つなげる先行投資はしっかり実施する必要がある



これらの事業実施に必要な収入が確保 できない、厳しい状況が続いている

- 持続可能な財政運営を確立するためには、財政構造の抜本改革が必要。
- 令和2年度「京都市持続可能な行財政審議会」を 設置。新型コロナウイルス感染症の影響も勘案し つつ、中長期を見据えた抜本的な行財政改革につ いて議論している。

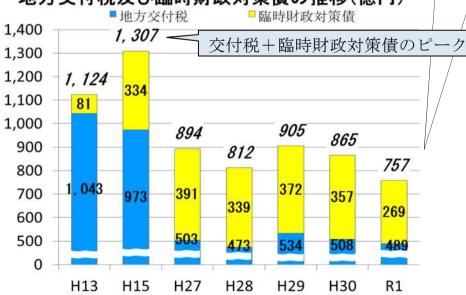




大学のまち、古い町並みが 残っているなどの京都の強みが 税収面では弱みに

実質的な地方交付税 (交付税+臨財債)は ピーク時(15年度)か ら550億の減

#### 地方交付税及び臨時財政対策債の推移(億円)

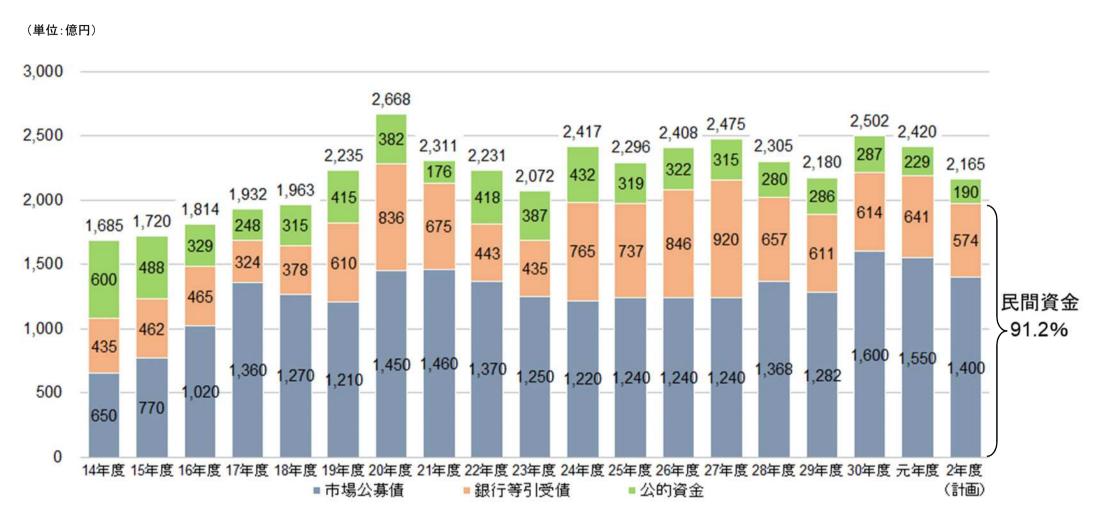


※平成29年度以降,教職員給与費移管分の影響を除く。

# 京都市債の状況(発行額の推移)



### 発行額に占める民間資金の割合が増加



- (注1)全会計,収入年度ベース(借換債を含む)
- (注2)億円未満を端数処理しているため、合計が一致しない場合がある。

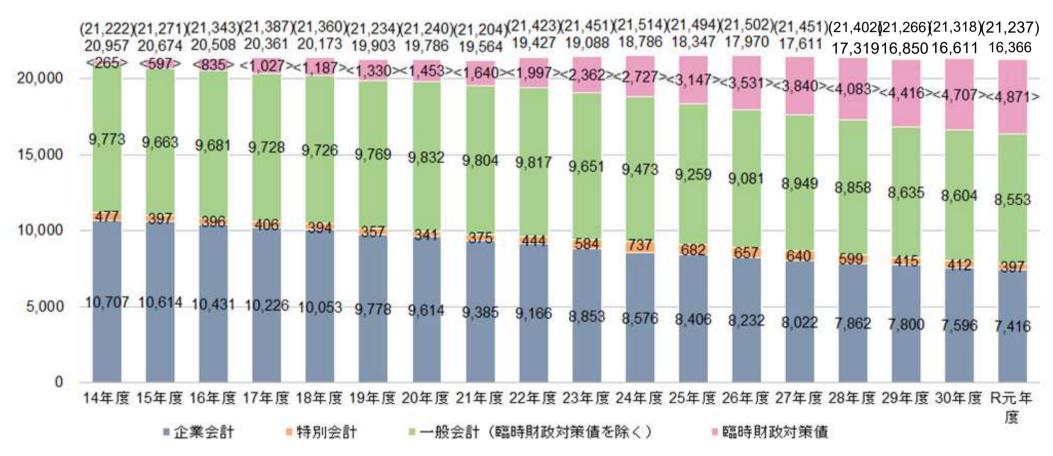
### ■ 京都市債の状況(残高の推移)



### 全会計の市債残高(臨時財政対策債除く)は平成15年度以降減少

■14年度(ピーク) → R元年度末 4,591億円(△21.9%)の減少

(単位:億円)



- (注1) < >内の数値は臨時財政対策債の残高。()内の数値は、臨時財政対策債を含めた残高合計。
- (注2)億円未満を端数処理しているため、合計が一致しない場合がある。

# ■ 京都市債の状況(発行体格付け)



#### 平成19年7月31日より格付けを取得

格付会社:ムーディーズ・ジャパン株式会社

**A**1

安定的

#### 他都市との比較

都 市 名	札幌市	名古屋市	大阪市	広島県	福岡県
+⁄2 /→ /→	A1	A1	A1	A1	A1
格付け	安定的	安定的	安定的	安定的	安定的

### 格付けの 評価理由

- 精密機器メーカーや繊維、食品など多様な産業が支える地域経済
- 中央政府による地方財政への監視および財政調整制度など強固な制度的枠組み
- 必要な時には政府からの特別な支援が提供される可能性が高いこと

# ■ 京都市債の状況(市場公募債発行計画)



### 令和2年度市場公募債発行計画

(単位:億円)

								(	単位:億円)
<b>公</b> 仁則	発行 計画額	発行 月別発行予定額							
発行別 		7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年1月	3月
個別発行 (5年債)	205	_	_	100	_	_	_	100	_
個別発行 (10年債)	300	_	150	_	_	_	_	150	_
個別発行 (年限未定分)	550	_	100 (10年)	100 (30年定償)	150 (10年)	100 (20年)	100 (30年定償)	_	_
共同発行 (10年債)	400				年間400	億円発行			
合計	1,455	(	個別発行	1,055	共同発行	400 )			

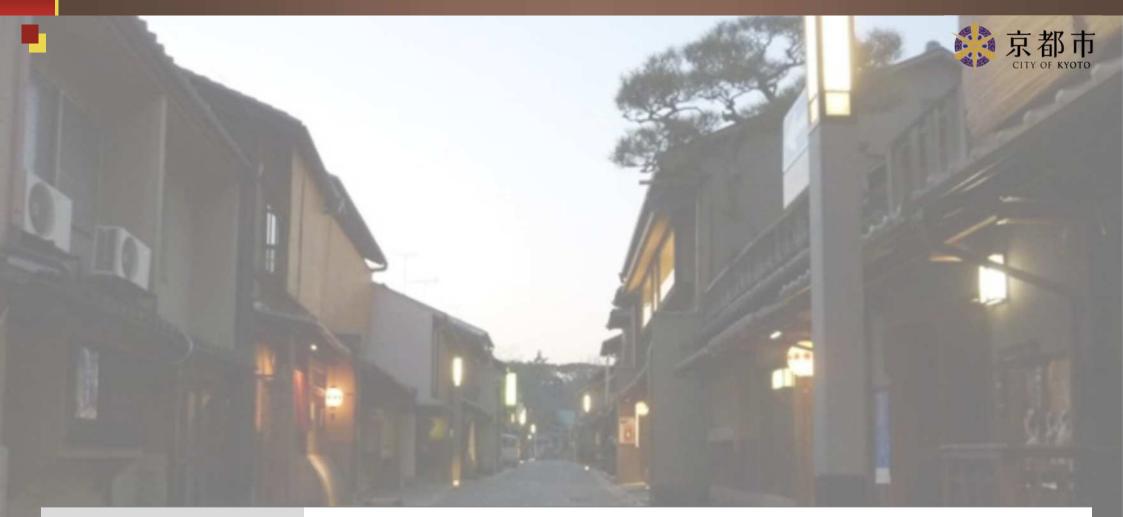
# 参考

(R元年度発行額)	1,500	( 個別発行 1,100	共同発行 400 )
	·	,	

# 市債管理の方針



- ■財政運営の更なる健全化を推進し、元利償還を確実に行います。
- ■満期一括償還準備金を、計画的に公債償還基金に積み立て、 積立金に応じた借換を行います。
- ■新規債の発行を抑制し、市債残高の抑制に努めます。
- ■市場公募債,銀行等引受債の繰上償還は行いません。
- ■本市の財政状況等への理解を深めていただくため、投資家の皆様との対話を重視し、なお一層のIR活動の充実に努めます。



お問い合わせ先	京都市行財政局財政部財政課
TEL	075-222-3290
FAX	075-222-3283
ホームページ	https://www.city.kyoto.lg.jp/menu5/category/69-3-0-0-0-0-0-0-0.html